

読者の広場

東京電力㈱技術開発本部

開発計画部技術調査グループ 渡辺 博孝

水素エネルギー協会に団体会員として参加させていただき、いつも貴重な情報や知見を勉強させていただきまして、まことに有難うございます。私は技術開発に携わってまだ日も浅くまた日頃の不勉強もあって、水素エネルギーについてまとまった文章をまとめることは難しいので、個人的な「空想」を記すことで本稿とさせていただきますと思います。

水素エネルギーは無公害で枯渇することのない「夢」のエネルギーといわれています。未来社会において水素が石油や天然ガスに代わって広く一般的に使われることも十分考えられると思います（逆に水素しかないのではないかという意見もあると思います）。このためには製造から消費にいたるまでの一環したシステム構築が必要であり、ある程度大規模な導入が図られないと水素エネルギーの持つ長所が生かされないように思います。ただし普及については技術的・経済的に突破すべき点もまだ多く、また膨大なインフラの整備が必要のため、広い範囲の多くの人が力を合わせて取り組んでいかないと実現は難しいといえるでしょう。さらに科学者・技術者をもとより社会全体のコンセンサスを得ることが大規模な推進のためには必要条件だと思います。これは水素エネルギーに限定される問題ではなく、これから人類がエネルギーの進路を決定していく上では避けられないことであるのは確かだといえましょう。

* * *

「えー、それではこれから本会議開始いたします。」自動思考・言語翻訳機を通じて若干不明瞭な声が聞こえてきます。

ここは近未来のある時代。いろいろな生物達が集まっています。全生物版「地球環境サミット」の会場です。これから地球の進むべき方向を決めようとする本会議の開始です。

ちょうど国連が1国1票の権利としているのと同様に、ここでは人間は人類としての1票分しか主張をすることはできません。それが意味で地球を考えるためには平等だからです。

「これからの地球の進路を決める上で、何を重要と考えることが妥当なのか。」

議長から命題が出されます。ざわざわと会場全体に声が広がります。それぞれの生物はそれぞれのレベルで考え、それぞれの主張をします。空を飛ぶ鳥類は空の汚染を、海を泳ぐ魚達は海の汚染を、そして地下にすむ虫は土壌の汚染を憂慮している様子です。

このとき1つの主張が出ます。

「やはり、地球全体をバランス良い状況にすることが最も大事ではないでしょうか。」

バランス良いといっても見方によって考え方も変わります。簡単にまとまった意見など出ようはずもありません。ただし何となく1つの方向が見えてきました。人類の方にだんだん視線が集まり始めます…。

「確かなことは1つある。人間の数が多すぎる。人間が勝手すぎる。人間が変化することなしにバランス良いなどということは議論しても意味がない。」

ごうごうたる主張の数々。反論することさえ恐れられる状態。

事態が収集つかなくなりそうだと判断した議長が発言を遮り、提案を行います。

「みなさんのご意見はよくわかりました。もう、多数決を取るまでもないと思います。これから考えるべきことは、それではどうすればいいかということです。これについてここで議論してもまとまることはないでしょう。そこで私から提案をします。人間が引き起こしたことによって地球のバランスが崩れていることについて、これをどう解決するかの方法は、期限付きで、人間のみなさんにその決定と実行を委ねることとしましょう……。」

* * *

現在のようにエネルギーを自由に安価に大量に使用できる状況はそう長くは続かないだろうことは、多くの人が感じています。そしてエネルギーに限らず、このままの状態が進むことが不可能であることも知っています。ただ、それでは何をすればよいのか、何が最良の選択なのかは意見が分かれるところです。それ以上に、現実の問題よりも将来の問題を重視して考えることが難しいのが実状です。

具体的にどうしていけば良いのかは、みんなで考えていかないといけない気がします。それにはどんな選択肢がありどんな特質（長所・短所）があるのかを明らかにする必要があります。そしてこれを基に決断することが重要と思います。余力があるうちに始めないと手遅れになるかもしれません。

最近よく言われるようにエネルギーというハードの面から現状を変えていくだけではなく、頭の中の物差し＝ライフスタイルの変更も必要となってくると思われます。今の道の延長線上を探るだけではなく、サイドステップを踏んで違った価値観から考えるということです。もしかするとここに未来世界を実現する鍵があるのかもしれません。水素エネルギーについても単に今の石油の代わりに使うというのではなく、違った形・方法で有効利用する社会が生まれる可能性もあるかもしれません。

何かとても大きな話になってしまいましたが、それではいったい何をしたらいいのかと考えると、個人的にはやっぱり地道な努力しかないような気がします。言うは易し、行方は難し、と言います。これから少しずつ水素エネルギーの勉強をしていきたいと思っています。そして、毎日の日常に流されながらも、何か考えるところを持っていけたら、と思っています。これからのより一層のご指導をよろしくお願い申し上げます。